

# 多言語多文化全人教育センター

## Global Holistic Education Center

起業計画プレゼンテーション

提案者 鄭立民

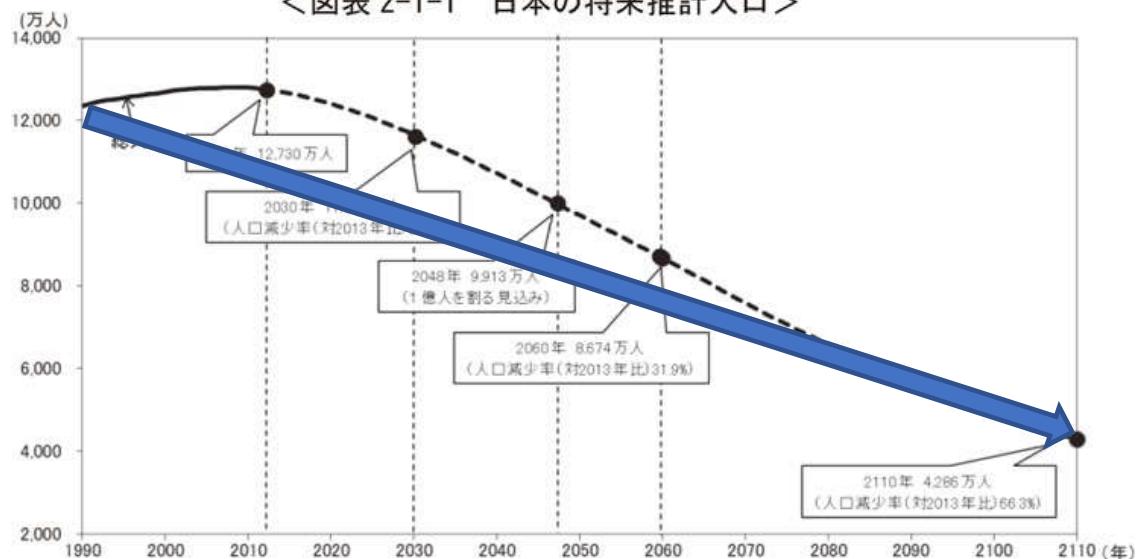
## 提案者紹介



台湾国立政治大学華語文教育博士学程単位取得在学中  
広島大学教育学研究科教育学博士課程休学中  
広島大学教育学研究科教育学修士  
チャイルドカウンセラー資格

1. 日本語教育・中国語教育・バイリンガル教育研究・指導歴10数年 **使命感**
2. 子ども時代より台湾・香港・フィリピン多言語多文化の環境で育てられてきた **センス**
3. 教育への关心 **知見と人脈**
4. 広島はわたしにとっての第二故郷 **愛**

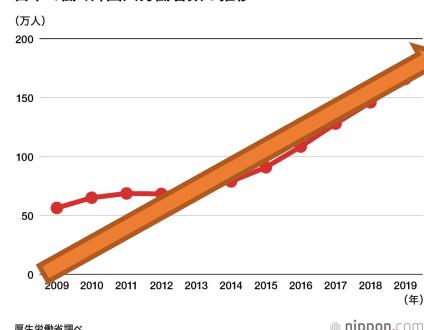
<図表 2-1-1 日本の将来推計人口>



(備考)

1. 1990年から2013年までの実績は、総務省「国勢調査報告」「人口推計年報」、厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成。
2. 社人研中位推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」をもとに作成。合計特殊出生率は、2014年まで概ね1.39で推移し、その後、2024年までに1.33に低下し、その後概ね1.35で推移。

日本で働く外国人労働者数の推移



© nippon.com

日本語指導が必要な児童生徒数の推移

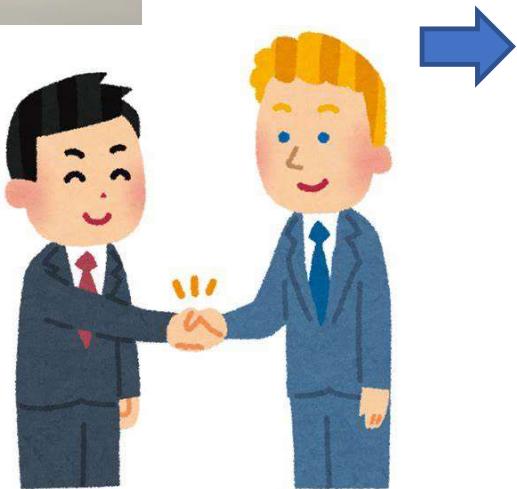


photo library

Map of Japan



# 社会問題

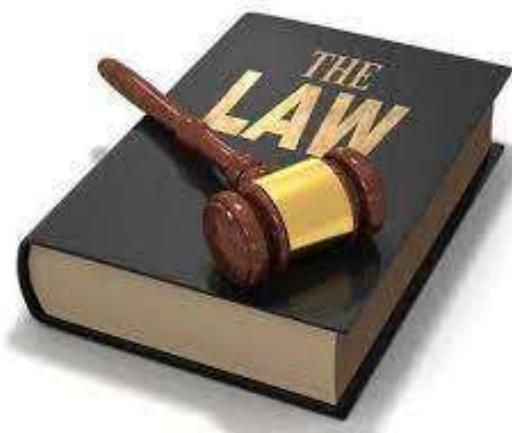


人格育成の問題：アイデンティティの構築

人権確保の問題：適齢の教育が受けられるか

人材養成の問題：グローバル人材のままになって、広島に貢献できるか

# 社会問題の原因



解決しないと、大きな社会問題になります

## 外国人も「日本は選ばない」…八方塞がりな労

石黒 太郎 2020.12.21

人材難

少子化



少子化の進展により、労働力不足の問題が深刻化の一途を辿る日本。今後、企業の人材獲得競争は激化するばかりです。人材を確保するにはどうすればいいか。多くの企業は女性や外国人の採用を考えるでしょう。しかしそれらは本当にうまくいくのでしょうか？ データを用いて検証してみると…。※本連載は、石黒太郎氏の著書『失敗

# 人材が日本を選ばない選択肢も…



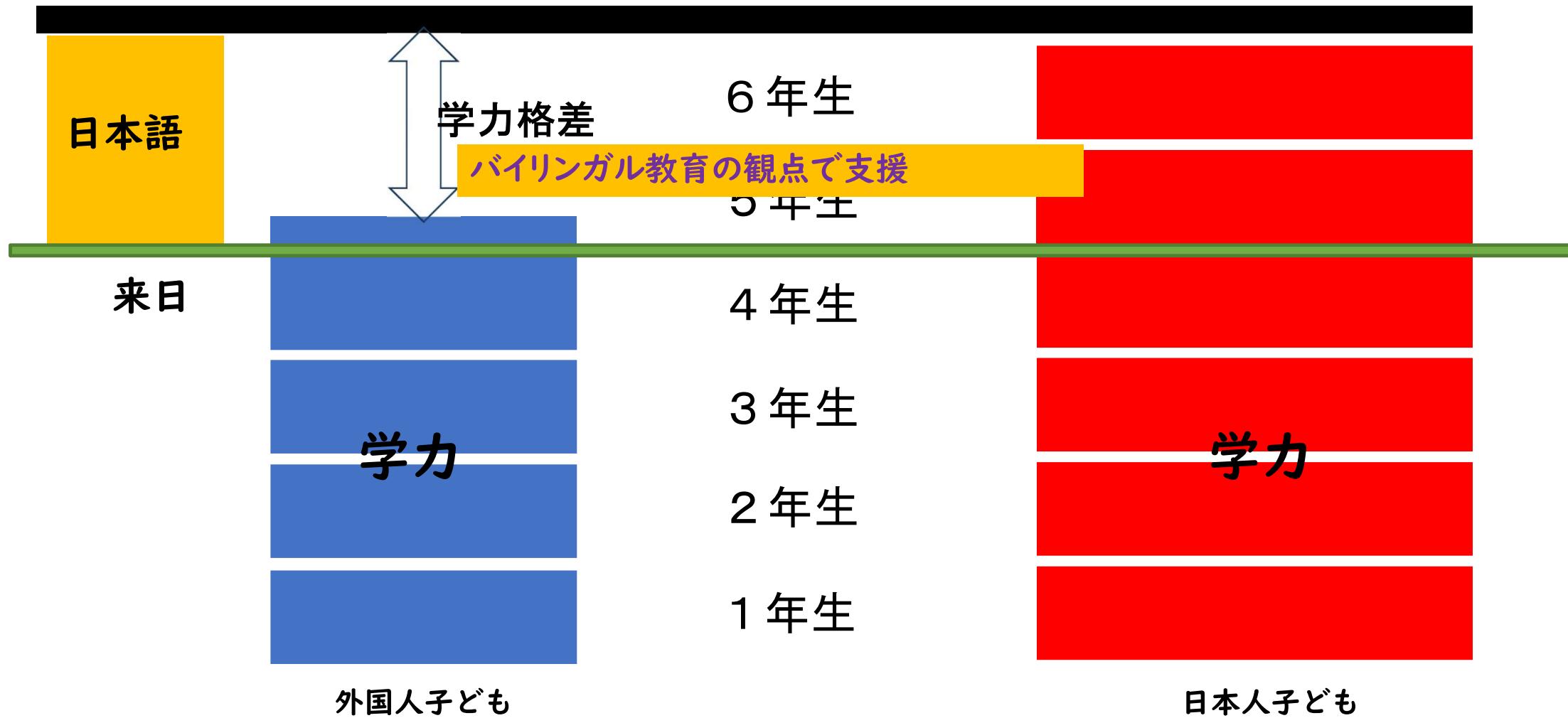
---

## 【歩んできた人生や今抱えている課題やニーズ等】

1. 来日直後、学校生活もうまく適応せず、涙の毎日
2. 1年後、日常生活の日本語がOK、教科学習はうまくできていないまま中学校に
3. 保護者は学校・行政との相談ができるほどの日本語力はない

**ちゃんと支援がなければ、学習権を確保できず、進学も難しいだろう**

# 小学校卒業



# わたしのソーシャルミッショント

多言語・多文化の「居場所作り」の精神で拠点を作り、外国住民の人権を確保し、国・人種による差別をなくすことで、多文化共生社会の作りに貢献する。



# 事業コンセプト

誰に

日本に移住した多言語多文化を持つと家庭とその子どもに

どんな価値を

多言語かつ専門性がある全人教育及び子育て支援等の教育サービスを

どうやって

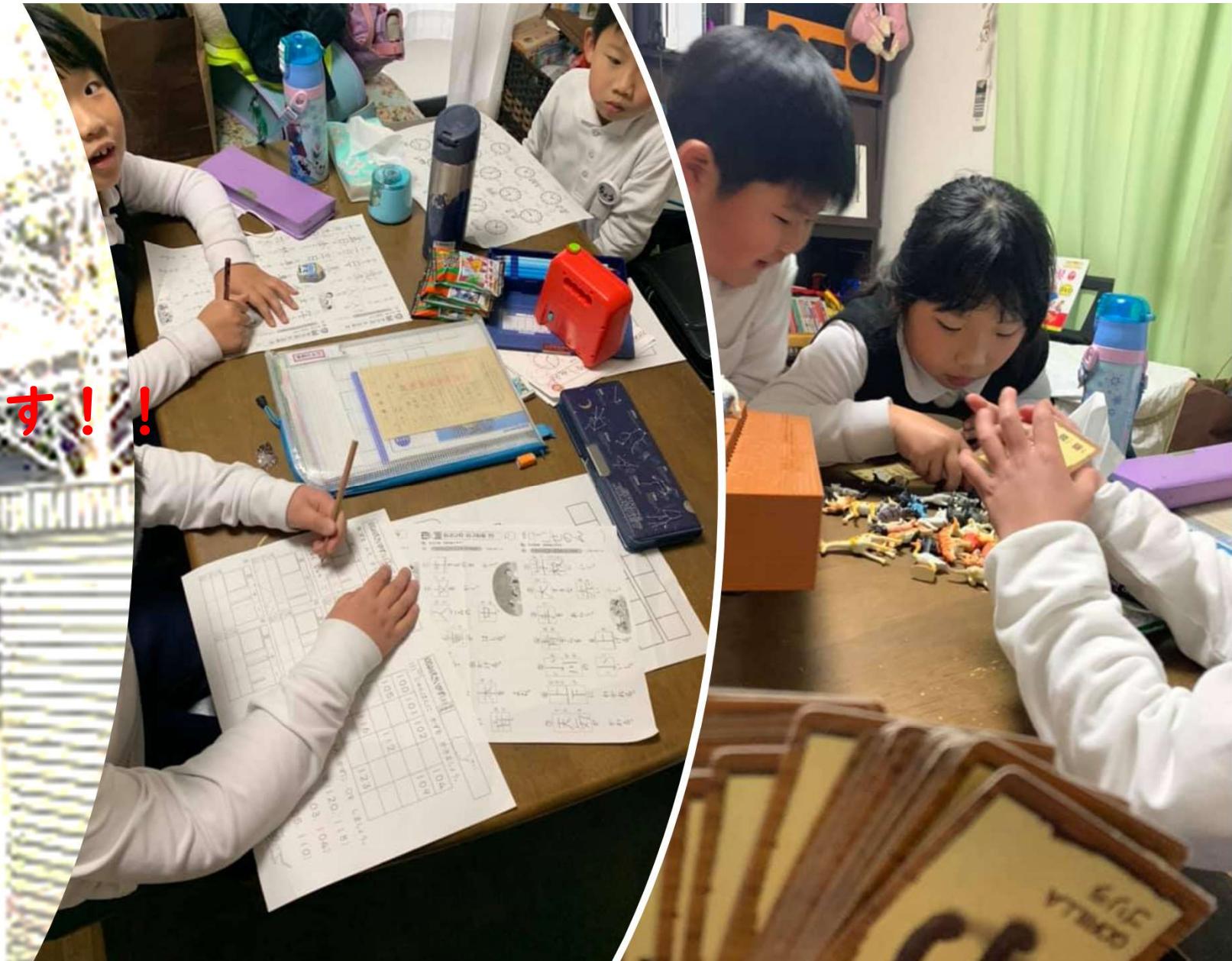
居場所感がある拠点、行政、公共施設及びオンラインで提供する

# 直営拠点

古民家等でサービスを提供

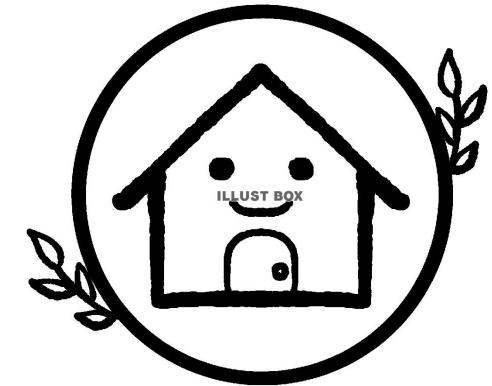
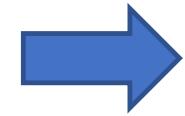
語学教室、教科教室  
放課後サービス、  
多言語図書館等

スタートしています！！



# 提携拠点

いろいろな拠点と提携し  
サービスを提供



語学教室、教科教室  
多言語悩み相談、  
カウンセリングサービス等

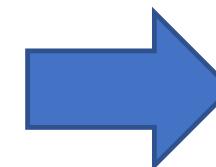
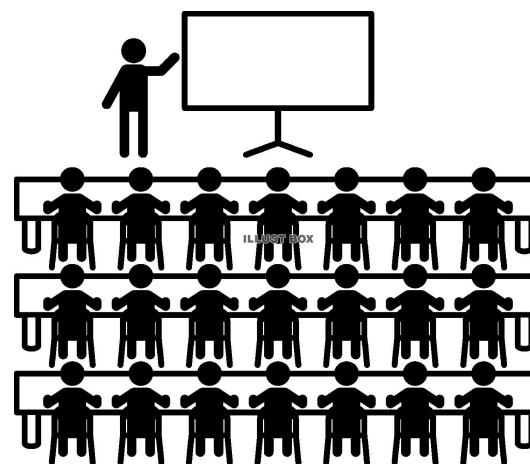
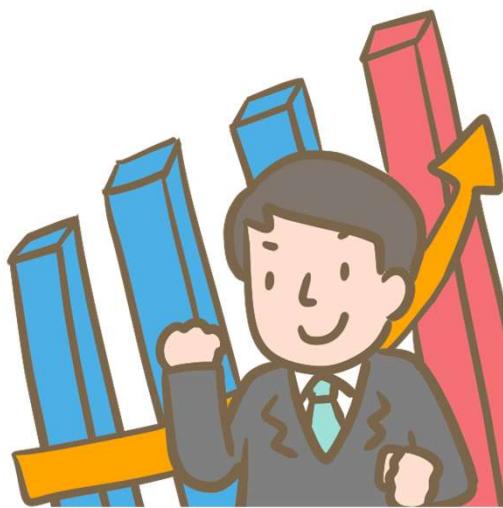
# オンライン拠点

学習塾  
語学教室等



★イメージ

# 流通チャネル、宣伝・広告・営業方法



## 人事・総務・経理

### 事業管理

企画・営業・  
MKT

拠点運営

会員サービス  
運営

教育事業運営

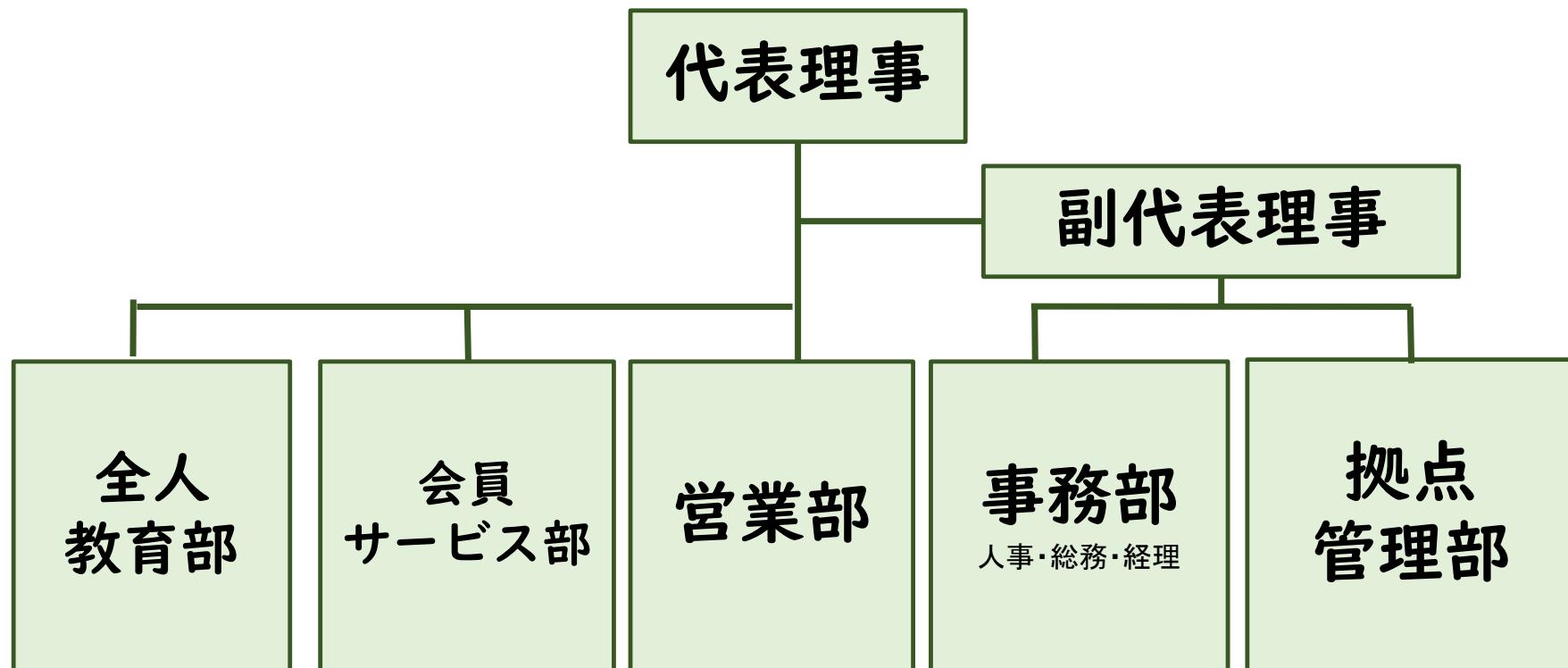
イベント  
宣伝活動  
SNS発信

入会の誘い  
相談の対応

会員活動  
サービス提案

全人教育サービス  
カウンセリングサ  
ービスを提供

# 組織図



全人教育 ≒ 心身、人格、知識、批判力、思考力等、教育の全般

# わたしのソーシャルビジョン

2040年に多言語多文化を持つ外国からの家庭は、多文化共生社会ができた日本で支障なく暮らすことができる。



ご清聴、ありがとうございました。

[ceo@mugiko.life](mailto:ceo@mugiko.life)